

令和6年度 関東信越地区高等専門学校体育大会

テニス競技実施要項

1. 主催 関東信越地区高等専門学校体育協会
2. 主管 関東信越地区高等専門学校体育協会テニス専門部
3. 共催 長野県テニス協会
4. 開催校 長野工業高等専門学校
5. 期 日 令和6年7月12日(金) 開会式 16時00分
練習 13時00分～
代表者会議 14時00分～
審判講習会 15時00分～(30分)
令和6年7月13日(土) 試合開始 8時40分
令和6年7月14日(日) 試合開始 8時40分
閉会式 試合終了後
6. 会場 南長野運動公園 テニスコート(砂入り人工芝コート 16面)
※会場ロケーションより、本コートで開催することを前提(雷以外、試合継続)とします。
コート予約状況 7月12日(金) 16面:10:00～17:00
7月13日(土) 16面: 8:30～21:00
7月14日(日) 16面:8:30～12:00、6面:12:00～16:00
〒388-8002 長野県長野市篠ノ井東福寺 320
TEL 026-293-4818
7. 参加資格 各種目とも関東信越地区の高等専門学校在学学生で所属する学校のテニス部員であること。
8. 競技種目 ①男子団体戦 ②男子個人戦シングルス ③男子個人戦ダブルス
④女子個人戦シングルス ⑤女子個人戦ダブルス
9. 参加人員 ①男子団体戦
監督1名、コーチ・マネージャー各1名以内、選手4～10名以内
(ただし、選手に欠員を生じ3名以下になった場合は失格とする。)
②男子個人戦シングルス 4名 ③男子個人戦ダブルス 2組
(注:個人戦のシングルス・ダブルスはなるべく重複しない。)
④女子個人戦シングルス 2名 ⑤女子個人戦ダブルス 2組
(女子個人戦はオルタネイトリストに3人[組]目・4人[組]目を登録できる。)
10. 試合方法 競技規定はJTA テニスルールブック 2024に準ずる。
①各種目ともトーナメント戦により優勝を決定する。
②全ての試合を1セットマッチ(6-6後は7ポイントタイブレークゲーム)とする。
③全試合ともノーアドバンテージ・スコアリング方式とする。
④団体戦は、2シングルス(S1、S2)、1ダブルス(D)の3ポイント制とする。試合順序は、

- D、S2、S1とする。ただし、同時展開もある。団体戦のシングルス出場順位は、登録順位に従うものとする（注意：団体戦は、シングルス、ダブルスに重複して出場できない）
- ⑤団体戦のベンチコーチは各コート1名とする。ただし、個人戦はベンチコーチをおくことはできない。
- ⑥トーナメントの進行上、やむを得ない場合はショートセットやマッチタイブレークで試合を行う場合もある。その他の規則については代表者会議で決定する。

11. 試合球 ダンロップ・フォート

12. 審判 ①ソロチェアアンパイア方式とする。
②審判については別途定める。

13. 組合せ抽選 ドロー作成のための抽選およびシーディングは、レフェリーまたは中立的立場の者が立ち会いのもと、開催校で行う。シード基準については別途定める。

14. 代表者会議 ①日時 令和6年7月12日(金) 14時00分～
②場所 南長野運動公園テニスコート会議室

15. 審判講習会 ①日時 令和6年7月12日(金) 15時00分から15時30分まで
②場所 南長野運動公園テニスコート
※雨天：南長野運動公園テニスコート会議室
※ルールを熟知している代表者が各校1名(以上)出席すること。
また、代表者は責任をもって自校選手に講習内容を伝達すること。

16. 開会式 ①日時 令和6年7月12日(金) 16時00分から16時30分まで
②場所 南長野運動公園 テニスコート
※雨天：南長野運動公園テニスコート会議室及びテニスコートスタンド(10ブロック)

17. 全国大会進出条件 ①男子団体戦：当種目の優勝校及び準優勝校(計2チーム)
②男子個人戦シングルス：当種目の優勝者及び準優勝者(計2名)
③男子個人戦ダブルス：当種目の優勝ペア及び準優勝ペア(計4名)
④女子個人戦シングルス：当種目の優勝者及び準優勝者(計2名)
⑤女子個人戦ダブルス：当種目の優勝ペア及び準優勝ペア(計4名)

18. その他 ①試合中の選手の負傷については開催校が応急処置をするが、その後の処置は当該校が行う。
②参加学生は、健康保険証を必ず持参すること。
③会場、試合方法等は、天候・コートの事情・その他により若干の変更を行う場合がある。
④大会出場者で、ホームページ、報道等への個人名の公表を希望しない者は、所属校を通じて開催校に申し出ること。事前に申し出がない場合は公表を行う。なお、大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動でのみ利用するものとし、これ以外の目的では利用しない。

組 合 せ 抽 選 方 法

◎ 男子団体戦

- ① 原則として、2本のシードを行う。
- ② シード権は、次の順序によって行う。
 - (1) シード権の保有
前年度全国大会の1～3位の学校が全国大会の順位にしたがって第1～第2シード権を保有する。
 - (2) 前年度全国大会の同順位、または1～3位の学校のない場合は、前年度の地区大会の優勝校を第1シードとし、準優勝校を第2シードとする。
 - (3) その他は自由抽選とする。

◎ 男子個人戦シングルス（ドロー数24～40の場合）

- ① 原則として、8本のシードを行う。
- ② シード権は、次の順序によって行う。
 - (1) シード権の保有
前年度全国大会での成績がベスト8となった個人は、その成績に応じた位置のシード権を有する。
 - (2) 次のシード権は、前年度の地区大会の成績がベスト8となった選手が保有する。
 - (3) それ以外の第8シードまでは、各校の第1順位の選手から抽選する。
 - (4) 大会に出場しない場合、(1)、(2)のシード権を失う。
- ③ その他は開催校において責任抽選とする。

◎ 女子個人戦シングルス（ドロー数12～20の場合）

- ① 原則として、4本のシードを行う。
- ② シード権は、次の順序によって行う。
 - (1) シード権の保有
前年度全国大会での成績がベスト4となった個人は、その成績に応じた位置のシード権を有する。
 - (2) 次のシード権は、前年度の地区大会の成績がベスト4となった選手が保有する。
 - (3) それ以外の第4シードまでは、各校の第1順位の選手から抽選する。
 - (4) 大会に出場しない場合、(1)、(2)のシード権を失う。
- ③ その他は開催校において責任抽選とする。

◎ 男子個人戦ダブルス・女子個人戦ダブルス（ドロー数12～20の場合）

- ① 原則として、4本のシードを行う。
- ② シード権は、次の順序によって行う。
 - (1) シード権の保有
前年度全国大会での成績がベスト4となったペアは、その成績に応じた位置のシード権を有する。
 - (2) 次のシード権は、前年度の地区大会の成績がベスト4となったペアが保有する。
 - (3) ペアを解消した場合は、本来(1)、(2)のシード権を保有するはずであった選手を含むペアに、(1)(2)のシード権を有するペアに次ぐ位置のシード権を前年度の成績に応じて与える。同位に相当するペアがあった場合は抽選とする。
 - (4) それ以外の第4シードまでは、各校の第1順位のペアから抽選する。
 - (5) 大会に出場しない場合、(1)、(2)(3)のシード権を失う。
- ③ その他は開催校において責任抽選とする。